

早島町第5次総合計画後期基本計画、第3期早島町人口ビジョン及び早島町デジタル田園都市国家構想総合戦略策定支援業務技術提案評価基準

1. 基本となる考え方

契約候補者の決定に当たっては、本町にとって最適な事業者を選定するため、提案内容並びに実績及び価格の両面で評価する公募型プロポーザル方式を採用し、提案上限額等の制限の範囲内で提案があった者のうち、総得点の最も高いプロポーザル参加者を契約候補者とする。

2. 審査基準(配点)

(1) 総合点(1,000点)

総合点を1,000点満点とし、「実績評価点」と「内容評価点」の比率を1:4とする。

総合点 (1,000点満点)	=	実績評価点 (200点満点)	+	内容評価点 (800点満点)
-------------------	---	-------------------	---	-------------------

※ 提案上限額等の制限の範囲内での提案であることが前提

(2) 実績評価点(200点)

履行実績について次の方法で算出したものを合計する。

1件につき20点(最大200点)

(3) 内容評価点(800点)

採点に当たっては、「審査項目表」に定める各項目の着眼点を踏まえ、次表に定める6段階の評価を行い、それぞれの区分に応じた評価点を算出するものとする。

評価段階	得点
5 特に良い	配点 × 1.0
4 良い	配点 × 0.8
3 標準	配点 × 0.6
2 やや劣る	配点 × 0.4
1 劣る	配点 × 0.2
0 評価対象外	配点 × 0

(4) 総合点が同点の場合の取扱い

総合点の最も高い者が2者以上あるとき(同点のとき)は以下のとおりとする。

①プロポーザル参加者それぞれの「実績評価点」、「内容評価点」が異なる場合、「内容評価点」が高い者を契約候補者とする。

②プロポーザル参加者それぞれの「実績評価点」、「内容評価点」が同じ場合、審査委員会の投票で決定する。

(5) 有効数字の取扱い

評価点の算出に当たっては、小数点以下1桁までを有効とし、小数点以下2桁目で切り捨てる。

第一次審査 審査項目表(実績評価)

評価項目	評価基準	項目点
履行実績	過去 10 年以内における総合計画又は総合戦略策定総合計画の策定に関する業務実績件数	1 件につき20点 (最大200点)
第一次審査合計点		200点

第二次審査 審査項目表(内容評価)

評価項目	評価項目詳細	評価基準	項目点
実績	会社概要、 業務の実績	会社概要の説明があるか。 総合計画、総合戦略の策定支援業務の実績は十分であるか。	100点
	担当者の実績	担当者の履行実績や経歴は十分であるか。 (総合計画等の策定支援業務、調査分析業務、ワークショップ運営等の本業務を遂行するに当たって必要となる業務の実績、経歴の有無、期間等)	
業務全般	実施体制等	専門的知見やスキル等を有する人員が配置され、本業務を遂行できる実施体制が構築されているか。	100点
	理解度	社会情勢を踏まえた本町の現状及び課題を的確に把握しているか。 本業務の目的、策定における基本的な考え方及び仕様書について十分に理解しているか。	
事業経費	見積金額の総額とその内訳	提示した上限額の範囲内で、適切な積算がなされ、妥当性があるか。	50点
	基礎データ選定の考え方	時代の潮流や国及び岡山県の動向等が考慮されており、町政全般及び各政策分野の現状の把握・分析に有効な考え方が示されているか。	

評価項目	評価項目詳細	評価基準	項目点
業務の内容	現計画の検証・評価手法	第5次早島町総合計画基本構想及び前期基本計画、第2期早島町人口ビジョン及び早島町まち・ひと・しごと創生総合戦略の構成を踏まえた考え方の整理がなされており、各部署での具体的な検証・評価作業をイメージすることが出来る実行性のある提案となっているか。	500点
	外部環境の動向分析の考え方	社会経済情勢や、国や他の自治体の動向に精通しており、各種分析に必要な統計データ等を収集・分析する能力を有していることが確認できるとともに、計画の策定にあたり具体的な活用が見込める実効性のある提案となっているか。	
	アンケート調査	アンケート調査の効率的かつ効果的な実施方法、意見集約の効果的な手法や活用方法等が具体的に示されているか。集約した意見を分析し、計画に反映させることができるか。	
	ワークショップ	ワークショップの開催に当たって、町民の意向を総合計画等に反映するために効果的な手法（開催方法、回数、参加者の選定方法、当日の進行等）が提案されているか。ワークショップ開催後に集約した意見等を分析した報告書等を提出し、計画に反映させることができるか。	
	その他意見聴取の手法	早島町内で活動している各種団体に対する意向調査、早島町役場内関係各課室に対する施策等の基本調査等の意見聴取の手法やとりまとめ、分析の手法や結果の提供は計画策定に資する水準のものか。	
	会議等の運営方法	町職員との定例会議、審議会及びパブリックコメントを効率的かつ効果的に実施するための工夫があるか。	
	成果品	最終的な成果品として納品される総合計画等本編及び概要版について、町職員と十分な打合せを行い、必要な内容を過不足なく記載し、かつ、わかりやすい成果品を提供できる体制を構築できるか。また、町からの修正要望についてどの程度対応することができるか。	
	情報提供及び調査支援	総合計画等の検討材料とするため、他自治体の先進事例、国や岡山県の動向（制度改正、法改正等）、町からの疑問点や問題意識に対する調査レポート等の提出について、各種情報を正確に収集・分析した上でわかりやすいレポートを作成し、町の求めに応じて、又は提案者が必要と判断したときに情報提供できる体制が構築されているか。	
	追加提案	仕様書に記載されていない項目であって本町の現状と課題を踏まえたより効果的な計画策定に資する独自の提案がなされているか。	

評価項目	評価項目詳細	評価基準	項目点
業務工程	業務工程	業務工程は効率的な手順であり、論理的に構築されたものであるか。	50点
第二次審査合計点			800点